

# 宇陀市子ども読書活動推進計画

平成27年3月

宇陀市教育委員会

## は じ め に

活字離れ、読書離れと言われる社会状況の中で、本を読む習慣が全体的に低くなっています。しかし、読書は言葉を学び、感性を磨き、表現力・思考力を高め、想像力を豊かにします。読書から得たものは、人生をより深く生きるための糧となっていきます。読書は、子どもたちが自ら考え、判断し、行動する土壌となり、心豊かにたくましく生きる力を育てていく上で重要な役割を果たしてくれます。本を読むという習慣は、大人になって身に付くものではありません。子どもの頃から身に付けることこそが大切です。

この「宇陀市子ども読書活動推進計画」は、平成13年に制定された「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、本市における子どもの読書活動の推進に関する施策の方向性や具体的な取組を示したものです。宇陀市では、市内すべての子どもたちの健やかな成長を支え、等しく読書の機会に恵まれるような環境を、整備・充実するために積極的に取り組んでまいります。本計画が子どもの読書活動を進める上での指針となり、皆様方に活用していただけることを願っています。

最後になりましたが、この計画の策定に当りまして、計画案をまとめていただきました宇陀市子ども読書活動推進計画策定委員の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました多くの関係者の方々に心から感謝申し上げます。

平成27年 3月

宇陀市教育委員会  
教育長 石 増 次 郎

# 目 次

## 第1章 基本的な考え方

- 1 赤ちゃんから中学生までのシステム…………… 3
- 2 読書環境の整備…………… 3
- 3 市全体としての連携・協力体制…………… 3
- 4 推進計画の期間…………… 3

## 第2章 推進に向けての取り組み

- 1 宇陀市子ども読書活動推進委員会の設置…………… 4
- 2 連携・協力体制…………… 4
- 3 学校図書室の機能充実と活用…………… 5
- 4 市立図書館の活用…………… 5
- 5 広報と啓発…………… 5
- 6 評価と計画の見直し…………… 5

## 資料編

- 宇陀市子ども読書活動推進計画策定経緯…………… 6

# 第1章 基本的な考え方

国では、平成13年12月に制定した「子どもの読書活動の推進に関する法律」の基本理念の中で、「読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で、欠くことができないもの」としています。宇陀市では、市内のすべての子どもたちの健やかな成長を支え、等しく読書の機会に恵まれるよう、下記の基本方針に沿って、積極的に子ども読書活動を推進していきます。

## 1 赤ちゃんから中学校までのシステム

乳幼児期のブックスタートにはじまり、家庭での子育てや、保育所・幼稚園・義務教育の中で、言葉を学び、コミュニケーション能力を身につけ、想像力を豊かにしていくことが望めます。このように、トータルな子どもの成長を視野に入れ、赤ちゃんから中学生まで、それぞれの段階に沿った仕組みを構築し、子どもたちが、生涯を通じて読書に親しむ習慣を身につける基礎づくりに努めます。

## 2 読書環境の整備

子どもたちが、いつでも身近に本やお話に親しみ、調べ学習などができる学習環境を整えていきます。そのためには、市立図書館・学校の図書室などが子どもたちにとって魅力的なものであるよう、資料・人・設備を充実する必要があります。また、家庭への働きかけや、おはなし会・ブックトーク・読書相談・体験活動などを通し、子どもたちに本の楽しさを伝えていきます。

## 3 市全体としての連携・協力体制

上記1、2を進めていくために、学校・園・地域ボランティア・市立図書館・教育委員会・子ども支援課など、市全体の関連機関が相互に連携した組織づくりを行い、互いに調整を図りながら、協力して子どもたちの読書活動をサポートしていきます。

## 4 推進計画の期間

計画に基づく事業実施期間は、平成27年度から概ね5年とします。  
この間の検証を踏まえ、計画の見直しを行います。

## 第2章 推進に向けての取り組み

これからの宇陀市子ども読書活動を推進していくためには、その意義や重要性について市民の理解と関心を深めることが大切です。そのため、大人も含めて読書活動に対する理解や関心を高められるよう、教育現場・ボランティア・行政機関・図書館が連携体制を作り、以下の具体的な方策を広く市民に周知し、啓発活動を進めていきます。

また、これらの活動を継続支援するために市立図書館を拠点として、推進委員会等を定期的開催いたします。委員会の中で取り組みの効果を検討し、向上を図ることにより宇陀市内児童生徒の読書力の向上を目指します。

### 【具体的な方策】

- ・児童コーナー及び団体貸出資料を充実させます。
- ・読書意欲の向上を図るために、毎年12月に発行している乳幼児から小学生向けのブックリスト「この本読んで」の冊子の配布に努め、ホームページからの利用を拡大していきます。
- ・学級単位での団体貸出の周知に努め、利用の拡大を目指します。また、団体貸出の方法を模索し利便性を高める配送業務の整備に努めることにより、宇陀市内の幼稚園・学校における団体貸出冊数の0冊をなくします。
- ・おはなし会・工作教室・親子で参加できる行事等を公民館活動とも連携して実施していきます。
- ・小中学校の社会見学や職場体験、幼稚園・保育所の図書館でのおはなし会の開催などを、積極的に受け入れることにより図書館への関心を高め、親しみやすい図書館を目指します。
- ・小中学校への図書館オリエンテーションやインターネット予約の学習を行うなど、図書館及び学校図書室の利用方法の周知と活用に努めます。
- ・研修会等を開催し、図書館員・ボランティア団体・図書担当者・保護者等の児童書に対する意識の向上を目指します。

◎以上の具体的な方策を実行し、全国学力・学習状況調査における宇陀市の現状を奈良県レベルに押し上げます。

### 1 宇陀市子ども読書活動推進委員会の設置 <年2回開催>

- ・子どもの読書に関わる教育現場・ボランティア・行政機関・図書館などの構成委員により推進状況についての検討を行います。

### 2 連携・協力体制

- ・学校図書室連絡会議（学校図書室担当者、市立図書館担当者）<年2回開催>
- ・宇陀市子ども読書活動推進ネットワーク（ボランティア、市立図書館担当者）
- ・連携体制の中で市立図書館が中心となり、子ども読書週間などを通して、子どもたちの読書意欲を高めるようなキャンペーンや行事を実施します。<年1回>
- ・ボランティア団体と市立図書館が連携して幼稚園や保育所を支援する体制を整えていきます。

### 3 学校図書室の機能充実と活用

- 朝読書、家読書などを奨励します。
- 学校職員のための学校図書室についての研修を企画開催します。
- 学校司書教諭のサポートに努めます。
- 魅力ある蔵書構築についての研修を開催します。
- 保護者への啓発活動に努めます。

### 4 市立図書館の活用

- 職員が児童サービスの専門性を高めるよう努めます。
- 分館のない地域へのサービス拡大を図ります。
- 読書活動の情報発進と参加の呼びかけに努めます。

### 5 広報と啓発

- 市立図書館が中心となって、本計画書を作成し、ホームページ、広報誌などでひろく市民に知らせ、啓発活動や講演会などを行います。

### 6 評価と計画の見直し

- 宇陀市子ども読書活動推進委員会が事業の実施状況について適宜評価、提案を行い、事業年度の終わりに計画の見直しを行います。

## 資料編

### 宇陀市子ども読書活動推進計画策定経緯

日 程	会 議 名	内 容
平成26年8月26日	第1回 策定委員会	・委員会の主旨及び年間スケジュールの説明
		・講演会
		「宇陀市子ども読書活動推進計画策定の 意義と課題について」
		講 師 畿央大学 現代教育学科
		八木 義仁 氏
平成26年10月30日	第1回 ワーキング グループ会議	・アンケートの集約結果を見て、各学校・図書館の 現状報告や問題点についての意見交換
平成27年1月30日	第2回 ワーキング グループ会議	・子ども読書活動推進計画案骨子についての意見交換
平成27年2月26日	第2回 策定委員会	・子ども読書活動推進計画の承認
平成27年3月27日	子ども読書活動推進 計画講演会	・講演会
		「子どもと本をつなぐために」
		～宇陀市子ども読書活動推進計画を策定して～
		講 師 畿央大学 現代教育学科
		八木 義仁 氏